

第1回 熊谷駅から上岡バス停

実施日 2020（令和2）年2月19日 天候 晴

参加者 折本文夫、杉田 勝行、中田 信義、中島 征雄 計 4名。

GPSデータ

歩行距離：9.9km。全体所要時間：3時間27分。移動時間：2時間35分。停止時間：52分。

移動平均速度：3.8km/h。全体平均速度：2.8km/h。

熊谷駅を9時34分出発。晴れているが風が冷たい。駅前のロータリーの真ん中に熊谷直実の騎馬銅像があり、ラグビータウン熊谷の表示が目につく。駅前通りを直進し、国道17号線・中山道に出て左折。広い市役所通りを横切った先右手に、高城神社社名石柱と鳥居が数基ある長い参道の奥に古社「高城神社」本殿がある。（今回は寄らない）

80m程先の車道側に「中山道と熊谷宿」と「札の辻跡」の説明板と札の辻跡と刻まれた石柱がある。

（9：47）また、大露路通りの先80m位の車道側に「東京から66km」の標柱がある。直ぐ先の瓦屋根の「熊谷寺前」バス停の先の車道側に「本陣跡」の説明板と石柱がある。

鎌倉町交差点で国道を渡り、直進すると、熊谷直実ゆかりの「熊谷寺（ゆうこくじ）」と「伊奈利神社（奴稻荷・弥三左衛門稻荷）」がある。熊谷寺は熊谷直実（法名蓮生）が出家後、元久二年（1205）、彼の旧居に蓮生庵として創建したと伝えらる。

国道に戻り、八木橋百貨店の東口前に「旧中山道跡」と彫られた石碑があり、裏面には説明文が彫られている。また、傍に宮沢賢治の句碑がある。（10：04）

八木橋百貨店に入ると、店内の化粧品売りの通路は斜めに走り、西口に向かう。西口には「旧中山道跡」の石柱がある。中山道は、県道を横切って、Y字の右の道に行く。

鎌倉町交差点に戻り、南下する。この道が石尊街道で、大山街道であり、鎌倉街道である。町の名前は、中山道熊谷宿から鎌倉へ行く鎌倉道の入口であったのでその名が付いたか。

130m程の左に中央に水路（星川）がある星川通りがあり、西側へ入った所に星川の水源であった「玉の池」がある竹井本陣別邸の「星溪園」がある。（10：15～20）園内散策。

JRと秩父鉄道の踏切を渡り、国道407号線に合流して進むと荒川大橋で荒川を渡る。荒川大橋は長さ約850mで、渡るのに13分かかった。橋の上からの眺望は素晴らしく、秩父の左端に大山、丹沢・秩父・雪をかぶった浅間山、榛名、赤城の上毛の山々、谷川、日光連山が遠いがすっきりと見えた。

渡った所に「荒川大橋の橋門構」が残されている。（10：46）

左側の河川敷の旧道を進むと土手の手前に「九頭龍大権現の祠」があり（10：59）、土手を上がると国道407号線に合流。交差点を渡って県道沿いに進んだ街道を進むと国道407号線に合流する。合流の手前に「石尊宮の石燈籠」がある。（11：09）石燈籠は高さ3m程もある。

国道を淡々と歩き、和田吉野川を過ぎて森林公園北口入口交差点で、昼食を取るべく店を探すが、2軒とも休み。国道脇の空き地で昼食とする。（11：56～12：19）

国道を進み、道端の石仏を見て、国道から左に分かれて妙安寺へ向かう。妙安寺では境内で馬頭観世音毎月19日の縁日が行われていて、露店がいっぱい出て、賑わっていた。（12：48）

馬頭観世音が祀られているお堂は立派で、これほどの馬頭観世音を祀ったお堂は見たことがない。

馬頭観世音は秘仏で、午年の二月十九日しか開帳されないとのこと。昨年（2019年）4月17日に行った川越街道ウォークで和光市駅の手前、伯楽製鋳所の中にあった馬頭観世音が、ここ妙安寺の馬頭観世音を模写したものである。

馬頭観世音堂から国道を少し戻った所に上岡バス停がある。（13：01）13時7分発東松山駅行のバスに乗り帰る。



八木橋百貨店内旧中山道

荒川大橋



荒川大橋 橋門構

九頭龍大権現祠



石尊宮石燈籠



昼食場所



妙安寺馬頭観世音堂前